

<b>団体名</b> <b>南城市立大里北幼稚園</b>	<b>連絡先</b> TEL : 098-945-2583 Eメール : mikayo00607.@city.nanjo.okinawa.jp
---------------------------------	--

## 絵本が大好きな子を育むために

～ 保護者・地域・ボランティアと連携した取り組み ～

### 1 はじめに

幼児期は、生活や遊びといった直接的、具体的な体験を通して、人間として社会の一員として生涯にわたる人間形成の基礎を培う上で、極めて重要な時期といわれている。

本園は、年長児32名の1年保育1学級の小規模園である。少人数という関わりやすさや、本園の豊かな自然環境を生かし、保護者や地域を巻き込み、わくわくする体験活動の充実を目指すことで豊かな心を育み、人間形成の基礎を培うことができるであろうと考え取り組んでいる。

### 2 本園の学力向上推進の基本方針

- (1) 豊かな直接体験や間接体験の出来る教育環境を整え、園生活の充実を図る。
- (2) 諸教育活動の推進にあたってP（計画）D（実践）C（評価）A（改善）サイクルに従って改善を図る。
- (3) 幼児の実態を踏まえ、創意に満ちた学級経営の充実を図る。

### 3 幼児に育みたい力

#### （1）幼児期の終わりまでに育ってほしい姿の中から

- ①自立心：自分の力でやり遂げる体験などを通して自信を持って行動するようになる。
- ②協同性：友達と一緒に目的の実現に向け考えたり協力したりするようになる。
- ③数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚：遊びや生活の中で、数量や図形、標識や文字などに親しみ興味や関心を持つようになる。
- ④思考力の芽生え：身近な事象から物の性質などを感じ取ったり、予想したりして、多様な関わりを楽しむようになる。
- ⑤自然との関わり・生命尊重：生命の不思議さに気付き、動植物を大切にするようになる。
- ⑥言葉による伝え合い：先生や友達と心を通わせる中で、絵本や物語などに親しみ、豊かな言葉や表現を身に付け、経験したことなどを言葉で伝えたり、話を聞いたりして伝え合いを楽しむようになる。
- ⑦社会生活との関わり：家族を大切にしたり、身近な人と触れ合って地域に親しみを持つようになる。
- ⑧豊かな感性と表現：心を動かす出来事などに触れ、感性を働かせる中で、様々な素材や特徴や表現の仕方などに気付き、感じたことや考えたことを自分で表現したり、友達同士で表現表現する喜びを味わう。

## 4 具体的な取り組み（実践）

### （１）保護者・地域・担任・ボランティアによる読み聞かせ



担任・預かり保育担任による読み聞かせ(毎日)



教育相談員による読み聞かせ  
(毎週金曜日)



保護者による読み聞かせ（毎週火曜日）



民話サークルによる  
紙芝居「鬼ムーチャー」



園児による読み聞かせ  
(紹介したい絵本)

### （２）園児の主体的な活動（ミニ絵本作り・紙芝居作り）発表会へのつながり



好きな絵を描いて友達同士で会話が弾む。そこに文が加わり、友達同士で楽しむようになる。そこからミニ絵本作りが始まり、みんなの前で発表する事で、更に意欲的に取り組むようになる。



その後、紙芝居作りに繋がり、発表会で披露する。これまで経験してきた事を絵に描いて自分の思いや感じた事を文に書きまとめ、発表する。 「たのしい ようちえん」



### (3) 園児の活動を主体とした図書購入費造成（生活発表会終了後、お店屋さん開催）



普段のごっこ遊びから本物のお店屋さんへ繋がる。お祭りごっこでは、魚釣り屋さん・くじ引き屋さん・射的屋さん・ケーキ屋さん・ジュース屋さんなどが開店し、賑わいを見せた。

お祭りごっこ後に自分達で写真を貼り、活動を振り返る事で更にお店屋さんへの期待が高まる。



飲み物屋さん



お菓子屋さん



八百屋さん

お店屋さん本番。各店舗で「いらっしゃいませ〜」「どうぞ」「おかし1個で100円です」「やさしいっぱいあります」「ありがとうございました」等、場に応じた言葉を発し、主体的に楽しみながら接客する子ども店員。自分達で植えて育てた野菜の苗も販売する。(ブロッコリー・サニーレタス・チマサンチュ・ネギ)



開催後、学校車で書店に出向き、自分で選んだ絵本をレジに並んで購入する子ども達。ドキドキワクワクしながら「お願いします」と店員さんへ。人との関わりを学ぶ機会になる。



生活発表会・お店屋さんの会場作り。朝早くから、保護者の方によるテント設営、椅子の準備。コロナ禍の中でも、工夫し、PTA行事等が開催できるよう協力して頂く。(PTA作業ボランティア等)



#### (4) ボランティアとの連携による蔵書、読書推進の取り組み

(大里地区学校支援ボランティア団体うふざとうぬ会より絵本購入資金の贈呈)



新しい絵本に笑顔いっぱいの子供たち。友達と仲良く絵本を楽しむ。

14冊の絵本を購入し、園の蔵書となる。

(保護者の図書協力金で絵本を購入、貸し出し用として活用し、修了時に3冊持ち帰る)



絵本大好きを目指して、絵本の貸出を火曜日・金曜日に行く。絵本の部屋には、曜日により案内を表示する。

## 5 成果と課題

### 【成 果】

- ・保護者、地域、担任の読み聞かせを継続することで読書への意欲が高まった。「〇〇さんのお母さんが来たよ」「今日は何の絵本かな」等と、嬉しそうに迎える声が聞こえた。色々な人との関わり方に気づき、感謝の気持ちに繋がった。
- ・園で読んでもらった絵本を借り、親子で楽しむ時間が増え、貸し出しにも意欲的になった。
- ・子供たちの普段のごっこ遊びを活かし、「いらっしゃいませ」「何個ですか」など、言葉のやりとりを楽しみながら、主体的にお店屋さんを展開することができた。自分達で植えた野菜の苗も販売し、意欲的に取り組めた。その収益金で直接書店に出向き、自分で絵本を選び、購入する体験ができた。(花の苗木・ほうれん草・大根・シークワサー等提供あり)
- ・絵を描いたり、文を考えたりしながらミニ絵本作りが始まり、紙芝居作りに繋がった。それを機に生活発表会で友達とイメージを共有しながら表現することができた。
- ・保護者やボランティアの協力により、園の蔵書を増やすことができ、多くの絵本に出会わせることができた。

### 【課 題】

- ・今後も、絵本の蔵書を増すような取り組みをしながら貸し出しや読み聞かせを充実させたい。
- ・保護者や地域との連携も継続していけるように取り組みたい。
- ・絵本の大切さを保護者に積極的に発信し、更に絵本が大好きな子が増え、心豊かな子を育むことができるよう、取り組みたい。